

「大分に青少年科学館を作る会」2007年度事業報告

【2007年4月1日～2008年3月31日までの事業報告】

- 2007年6月23日 講演会「ものづくりは人づくり～ロボコンを通じて～」
ロボコンコンテスト（ロボコン）生みの親、森政弘東京工業大学名誉教授とロボコン授業の第一人者、下山大青森県八戸市立東中学校教諭を講師に迎えて講演会（主催：大分合同新聞）が開催され、当会との意見交換を行った。
- 2007年7月8日 委員会及び総会2007を開催
午後1時より大分工業高等専門学校会議室において本会委員会を開催し、役員のリ任及び船田会長の続投を決定。その後、アカデミックホールにおいて総会を開催し、2006年度の事業報告及び決算、2007年度の事業計画等が話し合われた。
- 2007年8月10日 『大分サイエンス交差点』第1回
大分大学が主催して2007年度に5回開催されたサイエンス・カフェ形式の市民向け科学啓発イベント『大分サイエンス交差点（OSC）』に協力団体として参加。
その第1回目が別府市内の京都大学地球熱学研究施設で開催された。テーマは「夏休み地獄ハイキング2007」。午前中に別府市内の火山、断層などについて基礎的な講義を受けた後、4班に分かれて研究施設内の見学を行い、午後からはバスをチャーターして別府市内の各地獄や地熱発電所を見学した。（参加者：58名）
- 2007年8月25日 『大分サイエンス交差点』第2回
28名の参加者を得て、大分市内のアートプラザで開催。テーマは「人間型ロボットの心～ロボットは心を持てるか？」
講師である藤田米春大分大学教授（本会顧問）から、人間型ロボットの現状～ロボットと人間のより自然なインターフェース～が興味深く紹介された。
- 2007年9月22日 『大分サイエンス交差点』第3回
45名の参加者を得て、大分市内の大分マリンパレス水族館「うみたまご」で開催。テーマは「うみたまごから考える環境問題」。
最初に牧野治敏大分大学教授（本会顧問）から環境問題に関するオリエンテーションがあった後、山田重隆氏（うみたまご）から、「うみたまご」についての詳しい解説を行った。その後、「うみたまご」のバックヤードを見学した。

- 2007年10月7日 『大分サイエンス交差点』第4回
31名の参加者を得て、大分市内のアートプラザで開催。テーマは「光のふしぎ」。
最初に高橋徹大分高専教授（本会副会長）から光の現象（偏光、反射・屈折、電磁気など）について全体的なレクチャーがあった後、偏光板を利用した各種の実験・観察、コーナーキューブの原理と光ファイバーの説明、グレーティングシートを使った分光実験、最後に光速度の測定実験を行った。
- 2007年12月1,2日 『大分サイエンス交差点』第5回
40名の参加者を得て、豊後高田市の「香々地青少年の家」において1泊2日で開催。テーマは「生まれる星たちとその観測」。
過去4回のサイエンス・カフェとは趣向を変えて、親子も含めた大人が対象。子供たちが工作室で望遠鏡を作成している間、大人は研修室で仲野誠大分大学教授（本会顧問）の講義を受け、その後、コーヒーを飲みながらのサイエンス・カフェとなった。夕食後はプラネタリウム視聴の後、ホームズ彗星、プレアデス星団などを観望。
- 2007年12月8,9日 「青少年のための科学の祭典」大分大会 in 三重町 に参加
豊後大野市の三重体育館で1500名余りの来場者を得て開催された。
本会の構成団体である「科学の祭典大分大会実行委員会」主催の下、「大分天文協会」、「児童文学と科学読物の会」からもブースが出され、作る会事務局も、入口でパンフレットを配布したり、作る会のブースを設置して、来場者にアピール。
- 2008年1月10日 大分県H20年度当初予算要求状況への意見書提出
H18年度～19年度にかけて県教育委員会が開催した「おおいっこ科学マインド育成事業」の次の段階の施策が示されていないことを指摘し、新たな事業を展開するよう意見。